

(六枚のうち一)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

□ 次の文章を読んで、問一～問五に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

--

(六枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(安藤 宏『私』をつくる 近代小説の試み)による。

問一 ①～⑥の語について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みを書きなさい。

問二 この文章中の(a)～(c)のいずれかの位置に、次に示す文章が段落として入ります。どこに入れるのが最も適切ですか。その記号を書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問三 「書いた文章を少し醒めた目で読み返し、「うである」がやたらに乱発されているのに気がついて、「何を偉そうに……」という違和感を覚え、気恥ずかしさにいたたまれない思いをした経験とありますが、「である」の乱発に違和感を覚え、気恥ずかしくなるのはなぜですか。その理由を四十字以内で書きなさい。

問四 2 それは何を指しますか。文章中から三十文字以内で抜き出して書きなさい。

30 高等学校 国語科 問題用紙

(六枚のうち三)

受験番号

氏名

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問五 3 三人称的な事実の提示と一人称的な判断とのせめぎ合いとありますが、次の文章中にはどのようなせめぎ合いが見られますか。せめぎ合いが見られる表現を、次の文章中から一つ取り上げ、具体的に説明しなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(谷崎潤一郎「細雪」による。)

□ 次の文章A・Bを読んで、問一～問三に答えなさい。

A

無極 曰ハク、「奢之子 材アリ。若シ在レバ 呉ニ、必ズ憂ヘシメン 楚国ヲ。盍下ッル以レテ 免ニスラ 其ノ父一ヲ 召ヒサ之ヲ。彼 仁ナレバ、必ズ来タラン。不レンバ 然ラ、将レニト 為サント 患ヒラ。」王 使レメテ 召レサ之ヲ 曰ハク、「来タレ。吾 免ニサント 而ノ父一ヲ。」棠君尚 謂ニヒテ 其ノ弟 員ニ 曰ハク、「爾ハ適レケ 呉ニ。我ハ将ニ 帰リテ 死セント。吾ガ 知不レ 逮バ。我能ク 死ナン。爾 能ク 報イン。聞ニケバ 免レス 父ヲ之 命ヲ、不レル 可カラ 以テ 莫カル之ニ 奔ルコト也。親戚 為レルレバ 戮セ、不レル 可カラ 以テ 莫カル之ニ 報ユルコト也。奔レリテ 死ニ 免サルルハ 父ヲ、孝也。度レリテ 功ヲ 而 行フハ、仁也。扱レンデ 任ヲ 而 往クハ、知也。知レリテ 死ラ 不レルハ 辟ケ、勇也。父ハ 不レ 可カラ 棄ツ。名ハ 不レ 可カラ 廢ス。爾 其レ 勉メヨ 之ヲ。相 従フヨリハ 為レスト 愈レリト。」伍尚 帰ル。奢 聞ニキテ 員ノ 不レルヲ 来タラ 曰ハク、「楚ノ 君 大夫 其レ 盱 食セン 乎ト。」楚人 皆 殺レス 之ヲ。

(「春秋左氏伝」による。)

受験番号

氏名

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

B

無忌言^ニヒテ於平王^ニ曰ハク、「伍奢有^ニリ二子^一、皆賢ナリ。不^レンバ誅セ、且^レニ為^ニラント楚ノ憂^一ヒト。可^下シ以^ニテ其ノ父^一ヲ質トシテ而召^上ス之ヲ。不^レンバ然ラ、且^レニト為^ニラント楚ノ患^一ヒト。」王使^三メテ使ヒラシテ謂^ニハ伍奢^一ニ曰ハク、「能ク致^ニサバ汝ノ二子^一ヲ則チ生キン。不^レンバ能ハ則チ死セント。」伍奢曰ハク、「尚ハ為^レリ人ト仁、呼バ必ズ来タラン。員ハ為^レリ人ト剛戾忍詢、能ク成^ニス大事^一ヲ。彼見^ニバ来タル之并セテ禽^一ニセラレンコトヲ、其ノ勢ヒ必ズ不^レラント来タラ。」王不^レ聴カ、使^三メテ人ヲシテ召^ニサ二子^一ヲ曰ハク、「来タラバ、吾生^ニカサン汝ノ父^一ヲ。不^レンバ来タラ、今殺^レサント奢ヲ也。」伍尚欲^レス往カント。員曰ハク、「楚之召^ニスハ我ガ兄弟^一ヲ、非^レザル欲^ニスルニハ以^テ生^ニカサント我ガ父^一ヲ也。恐^下レ有^ニリテ脱ル者^一後ニ生^上ゼンコトヲ患ヒテ、故ニ以^レテ父ヲ為^レシ質ト、詐^ハリテ召^ニス二子^一ヲ。二子到^ラバ則チ父子俱ニ死セン。何ソ益^ニアラシ父之死^一ニ。往ケドモ而令^ニムル讎ヲシテ不^レラ得^レ報ユル耳。不^レ如下^カ奔^ニリ他国^一ニ借^レリテカヲ以^テ雪中^ニ父之恥^上ヲ。俱ニ滅^フハ無^キ為^ニスコト也ト。」伍尚曰ハク、「我知^ニル往ケドモ終ニ不^レルヲ能^ハ全^ニウスルコト父ノ命^一ヲ。然レドモ恨^ニム父召^レシテ我ヲ以^テ求^レムルニ生^ラ而不^レ往^カ、後不^レ能^ハ雪^レグコト恥ヲ、終ニ為^ニルヲ天下ノ笑^一ヒト耳ト。」謂^レフ員ニ、「可^レシ去ル矣。汝能ク報^ニイン殺^レサル父^一之讎^一ニ。我將^レニト帰^レセント死ニ。」尚既^ニ就^レキ執^ニ、使者捕^ニヘントス伍胥^一ヲ。伍胥貫^レリ弓ヲ執^レリテ矢ヲ嚮^ニカフ使者^ニ。使者不^ニ敢^ヘテ進^マ。伍胥遂^ニ亡^グ。聞^ニキ太子建^一之在^レルヲ宋^ニ、往^キテ從^レフ之ニ。奢聞^ニク子胥之亡^一グルヲ也、曰ハク、「楚国ノ君臣、且^レニ苦^レシマント兵^ニ矣。」伍尚至^レリ楚^ニ、楚并^セテ殺^ニス奢ト与^レヲ尚也。

(「史記」による。)

問一 「史記」は紀伝体という体裁で書かれています。紀伝体とは、どのような体裁のことですか。編年体との違いを踏まえ、簡潔に書きなさい。

問二 文章Aには¹棠君尚謂^ニヒテ其ノ弟員^一ニ曰ハク、文章Bには²員曰ハクとありますが、それぞれどのような主張をしていますか。主張の理由を含めて、それぞれ簡潔に書きなさい。

問三 平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 国語総合 2 内容 C 読むこと (1) ウ には、「文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。」と示されています。この指導事項を踏まえて、A・Bの文章を用いて授業を行い、ワークシートを用いて、学習したことを振り返る活動を行うこととします。その際、ワークシートに、どのような問いを示し、生徒に記入させますか。問い及び生徒の記入例を、それぞれ簡潔に書きなさい。

受験番号

氏名

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

三 次の文章を読んで、問一～問五に答えなさい。

白河院の御時、天下に殺生を禁制せられたりければ、国土に魚鳥のたぐひ、絶えにけり。そのころ、貧しき僧^aの、老いたる母を持ちたるあり。その母、魚^bなれば、ものを食はざりけり。たまたま求め得たる食物も食はずして、やや日数を経るままた、老いの力、いよいよ弱りて、今はたのむかたなく見えけり。僧かなしみて、尋ね求むれども、えがたし。思ひあまりて、¹つやつや魚とる術も知らねども、みづから桂川の辺にのぞみて、衣にたまだすきして、魚をうかがひて、小さきはやを一つ二つとりて、持ちたりけり。

禁制の重きころなれば、官人、これを搦め取りて、院の御所へみて参りぬ。まづ子細を問はる。「殺生の禁断、世にもあるところなし。²いかでかその由を知らざらむ。いはむや法師の形として、その衣を着ながら、この犯をなすこと、ひとかたならぬ咎、のがるるところなし」と仰せ含めらるるに、僧、涙を流して。申すやう、「天下にこの禁制重きこと、みな承知するところなり。この制なくとも、法師の身にて、この振舞あるべからず。ただし、われ、老いたる母を持ちて、^d候ふが、ただわれ一人のほか、頼みたる人なし。よはひたけ、身衰へて、朝夕の食たやすからず。われ、また貧家にして財なければ、³心のごとくにとぶらふにあたはず。なかにも魚なれば、ものを食はず。この一天の制によつて、魚鳥のたぐひなきあひだ、身の力、すでに弱りたり。⁴これを助けむがために、心のおきどころなきままに、いまだ魚取る術も知らねども、思ひのあまりに、河のはたにのぞめり。罪を行はるること、案のうちに侍り。遁るべからず」と申す。

「ただし、このとるところの魚、今は放つとも生きがたし。身のいとまを許りがたくは、これを母のもとへ遣はされて、いま一度、あざやかなる味をすめて、心安くうけ。^e給ふを聞きて、いかにもまかりならむ」と申す。

⁵これを聞く人、涙を流す。院、聞こしめして、養老の志浅からぬをあはれみ感ぜさせ給ひて、さまざまのものども、馬車に積みて、たまはせて、許されにけり。

(「十訓抄」による。)

問一 a の、b なけれをそれぞれ文法的に説明しなさい。

問二 c 申す、d 候ふ、e 給ふはそれぞれ誰に対する敬意を表していますか。次のア～オの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 白河院 イ 僧 ウ 母 エ 官人 オ 読み手

問三 ¹つやつや魚とる術も知らねども、²いかでかその由を知らざらむ、³心のごとくとぶらふにあたはずを、それぞれ口語訳しなさい。

問四 ⁴これは何を指しますか。文章中から抜き出して書きなさい。

問五 ⁵これを聞く人、涙を流すとありますが、涙を流したのはなぜですか。その理由を八十字以内で書きなさい。

四 平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 国語総合 3 内容の取扱い (6) ウ には、教材を取り上げる際に配慮する観点が表示されています。示されている観点を、簡潔に六つ書きなさい。

受験番号

氏名

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

〔五〕 次の文章を読んで、問一～問六に答えなさい。(設問の関係で返り点・送り仮名を一部省略している。)

辛 毘 字ハ佐治、潁川陽翟ノ人ナリ。文帝踐^レミ阼^ヲ、遷^ル侍中^ニ。帝欲^ス徙^シ冀州ノ士ノ家十万户^ヲ。実^中テ河^南上^ニ。時ニ連^リ蝗アリ、民饑^ユ。群司以テ為^ニ不可^ト。〔A〕帝ノ意甚ダ盛^シナリ。毘与^ニ朝臣^一俱^ニ求^レム見^エンコトヲ。帝知^リ其ノ欲^スルヲ諫^メント、作^レシ色^ヲ以テ見^レル^之ヲ。皆莫^シ敢^ヘテ言^フコト。毘曰ハク、「陛下不^レ以^テ臣ガ不肖^ヲ、置^キ之^ヲ左^右ニ、廁^ニ之^ヲ謀議之官^ニ。安クンゾ得^レン不^ルヲ与^レ臣議^セ。臣ノ所^レ言^フ非^ズ私^ニ、乃チ社稷^ノ之慮^也。」帝不^レ答^ヘ、起^テ入^ル内^ニ。毘随^ヒテ而引^ク其ノ裾^ヲ。帝遂^ニ奮^ヒテ衣^ヲ不^レ還^ラ。良久^{シクシテ}乃チ出^デ、曰ハク、「卿持^レスルコト我^ヲ、何ゾ太^ダ急^{ナル}邪。」毘曰ハク、「今徙^サバ、已^ニ失^ニハ^ン民心^一ヲ。又無^ニケン以テ食^フコト。」帝遂^ニ徙^ス其ノ半^ヲ。嘗^ヒ徙^レ帝ニ射^ル雉^ヲ。帝曰ハク、「射^レルハ雉^ヲ樂^{シキ}哉。」毘曰ハク、「於^ニテハ陛下^ニ甚^ダ樂^シ。群下^ハ甚^ダ苦^{シム}。」帝默^然タリ。後遂^ニ乃チ為^レニ之ガ稀^{ナリ}出^ツルコト。

〔蒙求〕による。

(注) 辛毘 Ⅱ 三国時代の人物。

潁川陽翟 Ⅱ 地名。

文帝 Ⅱ 魏の王。

冀州 Ⅱ 地名。

問一 〔A〕にあてはまる最も適切な語を、次のア～オの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 猶 イ 則 ウ 唯 エ 故 オ 而

問二 左右、社稷の本文中における意味を、それぞれ書きなさい。

問三 遂、嘗の本文中における読み方を、送り仮名も含めてそれぞれ現代仮名遣いで書きなさい。

問四 毘与^ニ朝臣^一俱^ニ求^レム見^エンコトヲを、書き下し文にしなさい。問五 帝知^リ其ノ欲^スルヲ諫^メント、作^レシ色^ヲ以テ見^レル^之ヲ、何ゾ太^ダ急^{ナル}邪を、それぞれ口語訳しなさい。問六 毘随^ヒテ而引^ク其ノ裾^ヲとありますが、辛毘は、なぜこのように行動したのですか。その理由を六十字以内で書きなさい。

